



京都市立京都堀川音楽高等学校

Kyoto Municipal Kyoto Horikawa Senior High School of Music

令和 8 年度用 学校案内





音楽を愛し、人を愛して

指揮者 **佐渡 裕** 京都市立京都堀川音楽高等学校 芸術顧問(31期卒)

「堀音」この言葉の響きに、僕は強い誇りと、抑える事のできない思い出で胸が一杯になる。だからこそ僕は卒業してからも、必ず年に一度は学校を訪ね、懐かしい先生に挨拶をし、生徒たちのオーケストラを相手に汗を一杯かきながら指揮し、いつの間にか随分歳の離れたかわいい後輩達に励ましの言葉をかけることを、一人の卒業生として続けている。

それは「堀音」を卒業した者には、受け継がれている想いがあるからだ。それは「音楽を愛し、人を愛しいと思える気持ち。」それをこの学校で先輩や先生から教えられたからこそ、僕は世界を相手にする指揮者になった。今度は僕がその想いを現役の学生達に伝える番。毎年選ばれる40人の新しい堀音生達よ!いつか皆が卒業し、それぞれの道に進み、例えどんな仕事に就こうと、どんなに離れた所に暮らそうと、この僕ら卒業生が共有できる「堀音」という響きの心地よさに、きつときつと気がつく事だろう。

「人とつながる音楽家」を目指して

「音楽家」として「人とつながる」とはどういうことなのだろう?そんな問いかけから京都堀川音楽高校、通称 堀音(ホリオン)の学びが始まります。その問いの答えを、教職員が生徒たちに「これだ!」と教えることはありません。そもそも正解の定かではない問いであり、誰かが教えられるものではない問いです。音楽に志す生徒自身が堀音の3年間をかけて、その答えを自分なりにつかみ取ってほしい、そんな願いを込めて、教職員は堀音の学びを設計しています。

1年 形にならないものをわたしだけの形にしたい

— 基本的生活習慣・学習習慣を確立する —

1年	現代の国語 2	言語文化 2	歴史総合 2	数学I 2	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションI 4	論理・表現 I 1	家庭基礎 2	情報 1	音楽理論 2	音楽史 1	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	合唱 合奏 2	実技 2	探究的 総合的時間 1	HR 1
----	---------	--------	--------	-------	------	------	-----------------	-----------	--------	------	--------	-------	-------------------	---------	------	-------------	------

2年 ひとりでできないこともわたしたちが集えばできる

— リーダーとして、フォロワーとして、協働する力を育成する —

2年	古典探究 2	現代文探究 2	公共 2	物理基礎 2	体育 2	保健 1	英語 コミュニケーションII 4	論理・表現 I 1	▲国語 演習 1	▲英語 演習 1	▲社会 演習 1	音楽理論 2	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	合唱 合奏 2	実技 2	総合的な 探究的時間 3	HR 1
----	--------	---------	------	--------	------	------	------------------	-----------	----------	----------	----------	--------	-------------------	---------	------	--------------	------

3年 たたんだ翼をひろげ恐れずに向かっていこう

— 自己理解に基づいて自らの進路を切り拓く —

3年	古典探究 2	現代文探究 2	地理総合 2	科学と 人間生活 2	体育 3	英語 コミュニケーションIII 5	▲国語 演習 1	▲英語 演習 1	▲社会 演習 1	音楽理論 2	ソルフェージュ (視唱・聴音) 4	演奏 研究 1	合唱 合奏 2	実技 3	HR 1
----	--------	---------	--------	------------	------	-------------------	----------	----------	----------	--------	-------------------	---------	---------	------	------

教育課程 令和7年度 入学生

普通科目
音楽科目
特別活動他

- ・実技は個人指導。ソルフェージュ・英語は習熟度別授業を行っています。
- ・表の数字は単位数(一週間の授業時間数)です。
- ・実技は専攻実技1(3年次は2)と、副専攻実技1(ピアノ専攻は声楽、ピアノ専攻以外はピアノ)を履修します。
- ・▲は自由選択科目です。

校歌の歌詞に因んだこのような各学年の目標を掲げながら、「実技力」「学力」「人間力」の3つの力をバランスよく身につける。それらが重ねあわされた「音楽力」ともいべき力を、仲間と教職員、また堀音の3年間で出会う多くの優れた音楽家や豊かな教養を持つ方々との学びの機会の中で獲得していく。そうして、「人とつながる音楽家」の意味を、ダイナミックに、濃厚に描く人として巣立ってほしいと考えています。

高校卒業後の進路

卒業年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
東京藝術大学	9	9	4	6
京都市立芸術大学	13(2)	11(1)	9	12
愛知県立芸術大学	3(2)			1
沖縄県立芸術大学		1		
大阪教育大学		1		
京都教育大学				1
滋賀大学	1			
国立音楽大学				1(1)
東京音楽大学	8	5	5	6
桐朋学園大学	2		1	4
同志社女子大学	7(3)	12(1)	7(1)	8(1)
大阪音楽大学	10	10(2)	10(3)	9
その他	4(1)	7(5)	10(5)	8
留 学		1(1)		2(2)
卒業者数	40	39	32	39

合格者延べ数 ()内の数字は過年度卒業生で内数

大学進学後の活躍

- 演奏家 (ソリスト・オペラ歌手・オーケストラメンバーなど)
スイス・ロマンド管弦楽団、バルティックフィルハーモニー管弦楽団、ベルギー王立歌劇場(モネ劇場)管弦楽団、北西ドイツ・フィルハーモニー管弦楽団、レザール・フロリサン、NHK交響楽団、京都市交響楽団、神戸市室内管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、日本センチュリー交響楽団/二期会、神戸市混声合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル、新国立劇場オペラ研修生、劇団四季/自衛隊 音楽隊 ほか
- 作曲家
- 指揮者
- 音楽研究者 (音楽学者・芸術学者・批評家など)
- 専門的な指導者 (大学教師・レッスン指導者・合唱指導者など)
- 教員 (小学校・中学校(音楽)・高校(音楽)など)
- 音楽療法士
- マスメディア関係 (出版・放送など)
- 企画運営・制作 (音楽事務所・芸術計画業務・企業の芸術支援業務など)
- 楽器メンテナンス (管楽器リペア・ピアノ調律師など)

ほかに活躍する先輩がいっぱい!

音楽を愛する一人ひとりの夢の実現に向けて

それぞれの専攻・楽器を学びながら、一人ひとりの個性を生かした音楽力を身につけることができます。



充実した講師陣による 徹底した個人指導

生徒一人ひとりの個性と音楽的才能を最大限に伸ばすため、声楽、ピアノ、弦楽、管楽、打楽、作曲、楽理の各専攻において、音楽の最前線で活躍されている、京都堀川音楽高校ならではの充実した講師陣による個人指導を行い、将来、音楽の第一線で活躍するために必要な音楽の基礎的実技力や表現力をしっかりと育成します。

声楽専攻



歌曲やオペラアリアの学習を通して身体に無理のない発声を学び、くせのない、のびやかな声を育てます。また、合唱やアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

器楽専攻



バロックから現代に渡って幅広く学習し、ピアノ演奏に必要な力を育てます。また他専攻・楽器とのアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。



フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・サクソフォン・ホルン・トランペット・ユーフォニアム・トロンボーン・チューバの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

★令和8年度設置に向けて申請中

作曲専攻



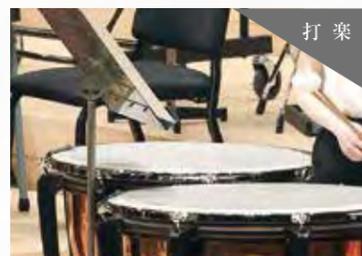
楽曲分析や和声法・対位法など、作曲に必要な基礎力を育てます。また作品の演奏発表も行い、奏者と協働して音楽を作る力も育てます。

弦楽



ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバスの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

打楽



打楽器・マリンバの各専攻があり、各楽器の演奏に必要な力を育てるとともに、オーケストラやアンサンブルも学び、協働して音楽を作る力も育てます。

音楽科教員

音楽

(声楽・合唱) 津幡 泰子
(ピアノ・重奏・ソルフェ) 山本 祐梨子
(ピアノ・合奏・演奏研究) 明石 幸大
(ホルン・合奏・重奏・ソルフェ) 海塚 威生
(フルート・ソルフェージュ) 清田 博美
(ソルフェージュ) 佐々木 望
(作曲・音理・ソルフェ) 平田 あゆみ
(作曲・音理・ソルフェ) 小島 夏香
スコアリーディング・ソルフェ 川崎 さやか
ソルフェージュ 北村 愛子
木下 阿由見
声楽・合唱・ソルフェージュ 小玉 洋子
ピアノ・重奏 小林 小百合
作曲・ソルフェ・演奏研究 小松 淳史
西洋音楽史 竹内 直
日本音楽史 武内 恵美子
ソルフェージュ 中本 芽久美

音理・ソルフェ 長谷川 智子
合唱・ソルフェ 馬場 眞子
重奏・合奏 藤森 彩
声楽・重唱・ソルフェ 山原 さくら
ソルフェージュ 山本 紗佑里

声楽

横川 あすか
横田 秀孝
吉田 七星
片桐 直樹
五島 真澄
篠原 美幸
高島 依子
田中 千佳子
乃村 八千代
森 季子
石田 純子
岡田 真里亜

ピアノ

上数領 美絵
小林 玲子
崔 理英
坂口 航大
崎谷 明弘
鈴木 華重子
多川 響子
田中 智穂
中川 美穂
西村 静香
韓 吏花
法貴 彩子
山下 諒
池川 章子
植村 菜穂
杉江 洋子
佐藤 響
西口 勝

ピアノ

ピアノ・指揮伴奏 坂口 航大
ピアノ 崎谷 明弘

ピアノ・指揮伴奏

坂口 航大

ピアノ

崎谷 明弘

ヴァイオリン

池川 章子
植村 菜穂
杉江 洋子
佐藤 響
西口 勝

チェロ

西口 勝

コントラバス

西口 勝

フルート 大久保 祐奈
オーボエ 初田 章子
クラリネット 上品 綾香
サクソフォン 村上 てるみ

ホルン

田端 直美

トランペット

森 陽子

トロンボーン

稲垣 路子

チューバ

湯浅 篤史

打楽器

三角 顕史
井口 雅子
宅間 斉

マリンバ

伊藤 朱美子
峯野 勢津子

チェンバロ

三橋 桜子

クラシック・ギター

益田 展行

指揮

松本 宗利音

指揮伴奏

矢野 百華

楽理専攻

表現コース

作曲、声楽、指揮、ピアノ、チェンバロ、クラシックギター又は弦楽器、管楽器（ユーフォニアムを含む）、打楽器等を用いて各表現方法の表現に必要な基礎的な力を育てながら、音楽表現の考察と実践力も育てます。

理論コース

音楽理論や音楽史を中心に学び、音楽を多角的に考察する力を育てます。また研究成果の発表を通して、プレゼンテーション力も育てます。

主なコンクール実績

令和4年度

第76回全日本学生音楽コンクール

ピアノ部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会入選
ピアノ部門高校の部
大阪大会第3位・全国大会入選
バイオリン部門高校の部
大阪大会第3位・全国大会入選
チェロ部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会入選

令和5年度

第77回全日本学生音楽コンクール

バイオリン部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会入選
第22回宝塚ベガ学生ピアノコンクール
高校生部門第2位

令和6年度

第78回全日本学生音楽コンクール

ピアノ部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会入選
ピアノ部門高校の部
大阪大会第3位・全国大会入選
フルート部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会第3位
フルート部門高校の部
大阪大会本選奨励賞・全国大会入選
バイオリン部門高校の部
大阪大会第2位・全国大会入選

様々な音楽の学びの場

各専攻ごとの個人指導に加えて、重唱や重奏、合唱やオーケストラの学習を通して、仲間と共に音楽を幅広く学び、その成果を毎年京都コンサートホールで開催する定期演奏会で披露しながら、一人では得られない達成感を仲間と一緒に分かち合っています。また、ヨーロッパ研修旅行（オーストリア・ウィーン、チェコ・ブルノ等）で、本場のクラシック音楽にも触れ、将来の夢を大きく育みます。



授業風景(合奏・合唱)

合奏の授業では どんなことを学びますか？

合奏の授業では、弦楽器と管打楽器の分奏や全体の合奏を通して、各パートの細かいニュアンスからオーケストラ全体の成り立ちや曲想までを学ぶことができます。授業を通してスコアを読むことの大切さや、個人練習の大切さを知り、演奏会前の特別練習で曲が仕上がっていくのを体験することで、みんなで音楽を作り上げていく喜びを実感することができました。



3年 器楽専攻(ヴァイオリン)
村山 愛
(天理中学校出身)



3年 器楽専攻(ピアノ)
藤村 柚葉
(京都聖母学院中学校出身)

合唱の授業では どんなことを学びますか？

合唱の授業は、全学年で行われます。生徒主導の場面も多く、合唱委員が中心になり歌唱曲を選んだり、時には指導を行ったりします。また、授業内の伴奏はピアノの生徒が担当するので、伴奏の基礎を身につけることもできます。どんな音をお客様に届けたいのか、試行錯誤しながら堀音生が一丸となって美しい響きを目指し、生み出した瞬間は一生の宝物です。



授業風景(日本音楽史)



授業風景(重奏)



授業風景(西洋音楽史)

ソルフェージュ



授業風景(聴音)



授業風景(視唱)

聴音では、旋律や和音を聴いて楽譜に正確に書き取る学習を、視唱では楽譜の内容を正しく歌う技術を身につけ、音楽性豊かな表現を追求します。少人数のグレード別クラスで行っているため、自分に合った学びができます。

音楽理論



音楽を専門的に学習する上で必要な知識を習得します。学年に応じて、楽典、和声法、楽曲分析などを学習します。

演奏研究



音楽の様式を踏まえた演奏を目指して、様々な音楽専門科目で得た知識や技術を総合的に用いて多角的に学習します。「先生方の専門性やこだわりが発揮される授業で、おもしろい」と、生徒からも好評です。

芸術探究・総合的な探究の時間

芸術探究の一環として、年に2回邦楽を学ぶ時間があります。また、「総合的な探究の時間」では音楽と社会とのつながりについて考え、京都市立図書館8館での「0歳からの絵本コンサート」の企画に取り組んでいます。



長唄講座のことを教えてください。

長唄講座で、私は小鼓を体験しました。実際に打ったとき、想像以上に音が鳴らなくて、小鼓を演奏することの難しさに驚きました。また、小鼓を響き鳴らすには姿勢を正し、脱力することが大切だと小鼓奏者の方から教わりました。私も、脱力を意識してサクソフォンを演奏したとき、自然と息が入って、より良い音を鳴らすことが出来た経験があります。これらのことから、この「姿勢」と「脱力」はサクソフォンに限らず、どの分野にも共通して意識すべき大切なことだと気付くことができました。



2年 器楽専攻(サクソフォン)
大野 美音
(京都市立双ヶ丘中学校出身)

堀音の「総探」は何を学びますか？

1年生は総合的な探究の時間で、「コンサートを作る」ということに取り組んでおり、私は京都市立図書館での絵本コンサートを担当しています。この取り組みでは、企画や編曲、図書館の方との打ち合わせも生徒自身で行います。私は、仲間と「どうしたらもっと良いものになるか」と試行錯誤しながら1つのコンサートを作り上げる楽しさを学ぶことができました。

2年 器楽専攻(ピアノ)
中務 凜
(ノートルダム女学院中学校出身)



卒業生からのメッセージ



今の私があるのは、堀音で「自分と向き合うこと」を学んだからです。学内試験、コンクール、大学入試——順位や成績と向き合わなければいけない場面は多くあります。でも、本当に大事なのは、結果や人と比べることではなく「今の自分ができることを発揮できたか」。その積み重ねが、自分の成長につながるのだと実感しました。

挑戦には勇気が必要です。でも、堀音には挑戦を支えてくれる環境があります。専門的なカリキュラムや先生方の手厚いサポートはもちろん、同じ目標を持つ仲間との存在も私には大きな支えでした。ときには悩みながらも、演奏を通して互いに刺激を受け、励まし合える関係があったからこそ、自分を信じて走り切ることができたのだと思います。うまくいく時も、うまくいかない時も、どの経験も「経験してよかったな」と気持ち切り替えられるようになっていきました。同級生だけでなく、先輩方や後輩達の演奏や課題に向き合う姿に心を動かされ、それが自分の原動力にもなりました。そして何より、ここで得たこの感覚は、今も私の心の支えになっています。

竹田 舞音
Takeda Maie
(61期卒)

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程オペラ専攻を東京藝術大学宗次徳二奨学金生として修了。カールスルーエ音楽大学大学院修士課程修了。現在同大学国家演奏家資格課程在籍。日本、ドイツ、スペイン、フランスでの演奏会にてソプラノソリストを務める。2018年第22回松方ホール音楽賞。2021年ライナー・コッホ記念コンクール第1位(ドイツ)。2024年Beca Bachソリスト契約(スペイン)。2024年メンデルスゾーンコンクール第2位、連邦大統領賞(ドイツ)。第93回日本音楽コンクール第1位および畑中賞、E・ナカミチ賞、INPEX賞を受賞。これまでに木川田温子、寺谷千枝子、島崎智子、Hanno Müller-Brachmannの各氏に師事。竹田舞音ウェブサイト：<https://www.mainetakeda.com>

HORION

音楽高校ならではの定期演奏会や2年生全員が行う音楽の本場ヨーロッパでの研修などをはじめ、生徒一人ひとりが自分の音楽を究めていくための“本物”に接する機会を大切にしています。



オーケストラ定期演奏会

オーケストラ定期演奏会は、堀音生が入学・進級してから夏までの集大成となる、最も大きな演奏会です。私が本番の舞台の上で感じたみんなの熱量は、練習の時とは比べものにならないほど大きなものでした。私は一人一人が輝けるこの演奏会を通して、学年を超えて同じ目標に向かい、1つの音楽を共に作り上げていくことの素晴らしさを学びました。



3年 器楽専攻(オーボエ)
中野 心結
(長岡京市立長岡中学校出身)



新設コンサート

弦楽アンサンブルコンサート



管楽アンサンブルコンサート



夏のスクールガイダンス



入学式



春期定期演奏会～3年公開実技試験～



春期定期演奏会
～3年公開実技試験～
2年前期実技試験



オーケストラ定期演奏会
夏期補習



管楽アンサンブル
コンサート
弦楽アンサンブル
コンサート
春のスクールガイダンス
前期中間考査
生徒自治会総会



体育祭(音リピック)



9

- ・1年前期実技試験
- ・前期末考査

8

- ・夏のスクールガイダンス
- ・小学生のためのスクールガイダンス
- ・文化祭(音高祭)

7

- ・オーケストラ定期演奏会
- ・夏期補習

6

- ・春期定期演奏会
～3年公開実技試験～
- ・2年前期実技試験

5

- ・管楽アンサンブル
コンサート
- ・弦楽アンサンブル
コンサート
- ・春のスクールガイダンス
- ・前期中間考査
- ・生徒自治会総会

4

- ・入学式
- ・前期始業式
- ・対面式
- ・遠足



3年 器楽専攻(オーボエ)
中野 心結
(長岡京市立長岡中学校出身)



3年 器楽専攻(ピアノ)
赤松 舞音
(茨木市立彰都西中学校出身)

ピアノコンサートは、年に一度、2月に開催されます。このコンサートへの出演はピアノの生徒にとって大きな目標の一つであり、自分が成長できるとも貴重な機会です。また、在校生や先輩、保護者の方だけでなく、学外からも大勢のお客様が聴きにきてくださいます。私は出演の際に学校の名前を背負って演奏することの責任の重さに身が引き締まる思いがしました。このコンサートを通して、曲がつくられた背景や、曲を通して自分が何を伝えたいのかを考えることの大切さも学びました。



ピアノコンサート



卒業演奏会



1

- ・3年卒業実技試験

2

- ・1、2年進級実技試験
- ・ピアノコンサート

3

- ・卒業式
- ・学年末考査
- ・後期終業式
- ・卒業演奏会

12

- ・後期中間(卒業)考査
- ・冬期補習



卒業演奏会



11

- ・2年ヨーロッパ研修旅行



京都城崎音楽フェスティバル



3年 器楽専攻(フルート)
井本 真尋
(王寺町立王寺北義務教育学校出身)

卒業演奏会は3年生にとって高校生活最後の舞台です。また、1、2年生にとっては先輩方と一緒に演奏できる最後の機会です。そのためコンサート終盤を飾る「瑩の光」と校歌「海を遠く」の演奏では、これまでの思い出が走馬灯のように駆け巡り、涙する生徒もいます。私たちは、3年生と一緒に作り上げた音楽と堀音への熱い思いを持って、次なるステージへと進んでいきます。



文化祭(音高祭)



77期生徒自治会 会長
3年 声楽専攻
稲葉 千洋
(京都市立下鴨中学校出身)

自治会において私は、「求められているものを求められている以上に」をモットーに日々活動しています。そこから1つの物事を完成させる責任とやりがいを学びました。特に生徒たちだけで行う演奏会の裏方では、観客と出演者の両輪からなる心からの音楽を追い求めました。この学びを今後の音楽人生において、人に伝える、笑顔を与えるという目標に繋げていきたいです。



文化祭(音高祭)

人と、世界と、つながる音楽家をめざして

世界的音楽家・著名な音楽指導者による特別レッスン

深く、そしてより高度な音楽水準を目指して、毎年、国内外から優れた演奏家・著名な音楽指導者を特別講師として招聘した公開レッスンなどを行っています。国内外で活躍される先生方による指導を通して生徒たちはさらに音楽への憧れを強くし、その向上心へと結び付けています。

松田先生の特別講座で一番印象に残っていることは？

私はピアノの2台8手で受講しました。クラシック音楽の本場で活躍されている先生だからこそ、音楽の捉え方、リズムの感じ方など、たくさん学ぶことが出来ました。中でも、曲全体を俯瞰してみようという事は、私にとって新たな視点であり、とても印象に残りました。この視点を自分の演奏に結びつけ、これからの成長に繋げていきたいです。



3年 器楽専攻 (ピアノ)
木目 唯花
(京都市立洛南中学校出身)



特別講座

芸術顧問 (ピアノ)
松田 康子 先生



ヴァイオリン
東京藝術大学 教授
玉井 菜採 先生

ピアノ
京都市立芸術大学 講師
高木 竜馬 先生



海外研修旅行



海外研修旅行で印象に残っていることを教えてください

私は海外研修旅行を経験して、チューバ奏者を目指す思いがより強固なものとなりました。とりわけ心に残っているのは音の響き方です。石造りでとても天井の高い教会や宮殿では、音そのままの響きの輪郭を保ったまま解放されていくように感じました。今でも、レッスン室にいながら、あのときの感動的な響きをイメージすることができるほどで、演奏する上での引出しの一つとなりました。



3年 器楽専攻(チューバ)
吉村 海慧
(屋久島町立岳南中学校出身)



公開講座

(敬称略・肩書は当該年度のもの)

令和6年度

- 津田 裕也 (ピアノ 東京藝術大学准教授)
- 戸上 真里 (ヴァイオリン 京都市立芸術大学准教授)
- 日紫喜 恵美 (声楽 京都市立芸術大学准教授)
- 三界 秀実 (クラリネット 東京藝術大学教授)
- 玉井 菜採 (ヴァイオリン 東京藝術大学教授)
- 加瀬 孝宏 (オーボエ 京都市立芸術大学准教授)
- 高木 竜馬 (ピアノ 京都市立芸術大学講師)

令和5年度

- 菅 英三子 (声楽 東京藝術大学教授)
- 栃本 浩規 (トランペット 東京藝術大学教授)
- 坂井 千春 (ピアノ 東京藝術大学教授)
- 玉井 菜採 (ヴァイオリン 東京藝術大学教授)
- 日紫喜 恵美 (声楽 京都市立芸術大学准教授)
- 古賀 慎治 (トロンボーン 東京藝術大学教授)
- 中木 健二 (チェロ 東京藝術大学准教授)
- 三船 優子 (ピアノ 京都市立芸術大学教授)



堀音生の1日

とある生徒の1日をのぞいてみました。



合唱・合奏のある日

- 7:45 朝練習
- 8:35 SHR
- 8:50 英コミュ
- 視唱
- 日本音楽史
- 12:40 体育
- 13:25 昼休み
- 13:40 清掃
- 13:40 物理基礎
- 合唱・合奏
- 合唱・合奏
- 16:30 音楽科目
- 17:00 普通科目
- 18:45 練習可能*
- 19:00 完全下校

音楽科目

普通科目

練習可能*

*練習は任意

レッスンのある日

- 7:45 朝練習
- 8:35 SHR
- 8:50 地理総合
- 古典探究
- 音楽理論
- 12:40 論理・表現 I
- 13:25 昼休み
- 13:25 現代文探究
- 練習
- 16:15 レッスン
- 17:00 延長練習
- 18:45 延長練習
- 19:00 完全下校

音楽科目と普通科目の両立は大変ではありませんか？



2年 声楽専攻
山本 和沙
(摂津市立第三中学校出身)

普通科目で学んだことは音楽に活きると思います。英語の授業では日本語と外国語の表現の違いについて学べます。それは、イタリア語やドイツ語の歌詞の意味や歌い方を考える上でとても大切に役に立っています。また音楽理論を理解するには数学的な考え方が必要であり、演奏には体力も重要なので体育の授業にも全力で取り組みます。



藤戸 愛 75期卒
東京藝術大学(ヴァイオリン)

音楽のスキルを磨けるのはもちろんですが、堀音では「人として何が大切であるか」についても、たくさん学びました。寄り添い熱心にご指導下さる先生方。学年や専攻を超えた志し同じ仲間達。音楽にまみれ幸せで濃密な高校3年間を過ごせる場所...それが堀音です！

卒業生からのメッセージ



船戸 咲希 73期卒
愛知県立芸術大学(トランペット)

堀音では定期演奏会や管楽・弦楽アンサンブルコンサート、文化祭ミュージカルなど多くの演奏活動を通し、有意義な学習を重ねることができます。管楽器専攻としては、オーケストラや室内楽をいち早く学べることが、大学でもすごく助けになっています。合奏やアンサンブルはソロとは全く異なる演奏法になります。高校からそのことに触れるので、大学では一歩踏み込んだ水準から、より深くより専門的に学ぶことができています。



長澤 杏美 72期卒
京都市立芸術大学(声楽)

堀音で出会った友人との繋がりは強く、共に困難を乗り越え、演奏会を成功させたことは大切な思い出です。音楽の道を志すことは決して平坦ではなく、悩むこともありましたが、先生方に親身になって導いていただき、音楽を通してたくさんの経験や達成感を得ることができました。素晴らしい環境で学んできたことをこれからは多くの生徒達に伝えていきたいです。

制服紹介



校歌

海を遠く

作詞：山本純子 作曲：平田あゆみ

海を遠く
離れていても
海の青さ思いだす
ゆらめき
きらめくものを
追いかけてすくおう
形にならないものを
わたしだけの形にしたい
このいのちが
はずみだす波をつかまえ
そして誰かに届けたい
とれたての
まぶしいきらめきを

愛はここに
芽生えてそだち
樹々のように茂りだす
ところと
ところを合わせ
そよげば歌がひろがる
ひとりではできないことも
わたしたちが集えばできる
このみどりの
やわらかい枝を伸ばして
ここで毎日歌いつぐ
若者の
明日へのときめきを

空を風が
ぬぐっていけば
空の深さあらわれる
飛び立ち
羽ばたくものを
見上げて夢が生まれる
たたんだ翼をひろげ
恐れずに向かっていこう
この翼が
巻き起こす風をしがえ
世界の静まる中で
響き出す
本物のかがやきへ

YouTubeで
Check! ↓



専攻別内訳

	令和7年度 入学生	令和6年度 入学生	令和5年度 入学生
声楽	9	7	6
ピアノ	16	13	20
弦楽	6	5	2
管打楽	7	12	10
チェンバロ	1		
クラシック・ギター	1		1
作曲		1	
指揮	1		1

出身居住地別内訳

		令和7年度 入学生	令和6年度 入学生	令和5年度 入学生
京都府内	京都市内	9	13	17
	京都市外	12	4	7
京都府外	近畿	19	17	13
	近畿以外	1	4	3

※近畿：大阪府・兵庫県・滋賀県・奈良県・和歌山県を指す
※近畿以外：福井県・富山県・鹿児島県・徳島県などを指す

入学に向けて

- 5/17 (土) 春のスクールガイダンス
- 6/7 (土) 春期定期演奏会
6/14 (土) ~3年公開実技試験~
- 7/21 (月・祝) 第52回オーケストラ定期演奏会
(京都コンサートホール大ホール)
- 8/2 (土) 夏のスクールガイダンス
~個人レッスン~
- 8/3 (日) 小学生のための
スクールガイダンス
- 8/22 (金) 夏のスクールガイダンス
~個人レッスン~



8月下旬
「令和8年度入学者選抜要項」
京都市・府教育委員会より発表

10/1 (水) 令和8年度前期選抜
実技検査課題曲等発表

10/3 (金) 中学校教員対象説明会

10/4 (土) 秋のスクールガイダンス
~前期選抜実技課題曲説明~

令和8年1月下旬
願書受付

2月初旬(土・日)
前期選抜
(実技検査・学力検査・面接等)

2月下旬
合格発表

3/22 (日) 第16回卒業演奏会
(京都コンサートホール 大ホール)



ソルフェージュ体験



公開授業



音楽体験コーナー

※上記の予定は今後変更されることがあります。詳細は本校のHPをご覧ください。
※楽器店での学校説明会でコンサートも開催しています。
※随時、個別の相談を行っています。

入試情報

令和8年度の前期選抜検査内容は、京都市・府教育委員会が8月に発表する「入学者選抜要項」及び本校の「募集要項」をご覧ください。課題曲等の発表は、10/1(水)正午。詳しくは10/4(土)の秋のスクールガイダンス~前期選抜実技課題曲説明~で説明いたします。また、令和9年度の選抜においては、検査内容の変更を検討しています。

参考 令和7年度前期選抜概要

<選抜方式> C方式

1. 独自学力検査：国語、英語
2. 実技検査

専攻実技テスト、音楽通論、聴音、視唱

必修テスト

- ・ピアノ新曲視奏テスト (器楽専攻のピアノ及び楽理専攻表現コースのピアノを志願した者に課する)
- ・チェンバロ基礎テスト (楽理専攻表現コースのチェンバロを志願した者に課する)
- ・必修ピアノテスト (上記以外を志願した者に課する)

3. 報告書
4. 面接

- ・実技検査には、「専攻実技テスト」の他、音楽基礎科目として「音楽通論」「聴音」「視唱」「必修テスト」があります。
- ・必修テストは、それぞれの専攻・楽器によって「ピアノ新曲視奏テスト」「チェンバロ基礎テスト」「必修ピアノテスト」のいずれかを行います。
- ・居住する都道府県の公立高校に音楽科がない場合、あるいは音楽科はあるが志望する専攻等がない場合は、京都府外から志願することができます。
- ・楽理専攻は、東京都を除くすべての道府県から志願することができます。
- ・各検査の内容等は本校が実施する秋のスクールガイダンスで説明します。
- ・選抜に関する詳細は本校企画推進部までお問合せください。

年間必要経費

(令和7年度)

入学金	5,650円
授業料(年額)	118,800円
学校預り金	106,450円
	※情報端末購入代を含む
音友会(PTA)	29,000円
同窓会費	5,000円
制服代	約86,000円
教科書・体育用品代	約47,000円

海外研修旅行積立金 450,000円
(1~2年生で15回の積立)

※所得額によっては高等学校等就学支援金制度申請により授業料は無償となります。

※所得額によっては海外研修旅行積立金や情報端末購入費に補助等のある場合があります。

芸術顧問からのメッセージ

堀音では、国内外で高い評価を受けている優れた音楽家であり、また、音楽指導者・教育者として高い見識と実績をあわせ持つ方々に「芸術顧問」を委嘱し、指導・助言をいただいています。



ヴァイオリニスト／岸邊 百百雄

桐朋学園を経て、ウィーン国立アカデミーに留学。ウィーン室内合奏団創立メンバー。東京フィルハーモニー交響楽団、ロッテルダムフィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団等のコンサートマスターを歴任。昭和56年京都市立芸術大学教授就任、平成12年同大学音楽学部長・大学院音楽研究科長。平成15年退官。現在同大学名誉教授、相愛大学教授。平成15年「京都市文化功労者賞」受賞。

今日は、大変不安な時代だとされています。しかし、有史以来、人類は多くの愚行、蛮行を重ねて来ましたが、多分、これからもそれは続いていくでしょう。一方、人類は素晴らしい文明、文化を築き上げてきました。その一つである音楽に対する私の想いは年齢を重ねるに従って深まっています。この喜びを一人でも多くの人と共有したいと思っています。



トランペット奏者／北村 源三

東京藝術大学在学中に第27回日本音楽コンクール管楽器部門第1位。昭和35年NHK交響楽団入団、以後25年間にわたり首席奏者を務めるほか、一流オーケストラと数多く共演。平成3年第11回有馬賞受賞。現在N響団員、国立音楽大学理事、日本トランペット協会会長。堀川高校音楽課程第7期卒。

私は中学の時、吹奏楽部で音楽（トランペット）を始めました。そして市立堀川高校音楽課程（現 京都堀川音楽高校）で本格的な音楽教育を受けました。現在83歳です。まだ音楽を楽しんでいます。音楽は人の心の中に存在します。その音楽を表現し、人の心に感動を与えることが私の生きがいです。音楽をととして世界中に友達が出来た事もうれしいことです。



指揮者／佐渡 裕

京都市立芸術大学卒業後、故レナード・バーンスタイン、小澤征剛に師事。毎年ヨーロッパの一流オーケストラへ多数客演を重ね、今最も注目されている日本人指揮者。平成23年5月にはベルリン・フィルの定期演奏会にデビュー。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者や「題名のない音楽会」（テレビ朝日系列）の司会を務めるなど幅広く活躍している。平成16年「京都市少年合唱団を育む会」顧問に就任。堀川高校音楽科第31期卒。

僕は小学生の時に音楽家になりたいと思っていました。「音楽が大好きだ」という想いははっきりしていたからです。一人で作る音が二人になったら喜びも倍になります。みんなで作る合唱やオーケストラならその喜びは計り知れません。音高ではそんな想像もつかない喜びが、きっと皆さんを待っていることと思います。



作曲家・打楽器奏者／ツトム・ヤマシタ

17歳でジュリアード音楽院に給費留学。クラシック、ジャズなどを学んだ後、ベルリンフィル、シカゴ響等と共演。また、故武満徹氏らと数多くの打楽器による楽曲を生みあける。帰国後、仏教の「供音式（音による供養）」という新しい音楽形態を確立。また、ピアノの音域を超える石の楽器「サヌカイト」による演奏活動や、「21世紀京都幕開け記念事業」芸術監督など、芸術監督としても国際的に活躍。堀川高校音楽科第16期卒。

妙なる音は、人類が共有できる平和の調べであり、国境を越えて人々の心をつなぐ。



ピアニスト・教育者／田中 美鈴

京都音楽短大ピアノ8期卒業。演奏活動としては、伊吹新一とアカデミア管弦楽団および堀音オーケストラや京都市交響楽団でベートーヴェンやモーツァルトの協奏曲を、宇宿允人や門良一のモーツァルト管弦楽団等との共演、その他ジョイントリサイタルの開催や合演やアンサンブルとの演奏会を行った。教育面では文部省海外派遣でドイツ・ユーゴへの短期研修。高校指導要領カリキュラム作成協力員として一年間、文部省での担当。平成9年には音楽高校として独立開校に際し教頭・校長を経て退職。その後、京都市教育委員会学校指導課専門主事として校舎移転・新校舎建設に携わった。堀川高校音楽課程第10期卒。

昭和23年（1948年）10月に堀川高校音楽課程が設立され、戦後の混沌とした貧しい時代に、音楽家への志を持ち、その道を追求していきたく願う「第一・第二期生」がいたこと、これが堀音の原点ではないかと思っています。今日までの70余年に、海外でまた国内で、多くの音楽家が堀音から生まれ、育ち、活躍しております。この先輩たちが持っていた「音楽への想い（愛情）」をこれからの堀音生が受け止め、成長していってくれることを、私は願っております。



アーティスト／葉加瀬 太郎

平成2年、KRYZLER&COMPANY のヴァイオリニストとしてデビュー。その後、セリウス・ディオとの共演をはじめ、国境を越え、様々な音楽ジャンルを吸収した独自のサウンドで人気を博す。平成14年、新レーベル「HATS」を設立、自ら音楽総監督を務め、様々なアーティストプロデュースや良質の音楽を紹介している。堀川高校音楽科第37期卒。

人はひとりでは何もできません。とにかく仲間を、友達をたくさん作ってください。とくにとても若い頃の友人とはいつになってもお互いの秘密の宝箱を共有することが出来ます。そしてそれは何にも代えられない聖域となります。音楽と共に生きる人生は最高に楽しいものです。音楽は衣食住が整って初めて必要とするものではありません。ひととはどんなに飢え、苦しいときにも歌を唄います。I believe in Power of Music.



ピアニスト／松田 康子

東京藝術大学、同大学院、ミュンヘン国立音楽大学を卒業。ドイツを中心にヨーロッパ各地で、定期的にリサイタル、室内楽、オーケストラ共演などの演奏活動を行うとともに、リヒャルト・シュトラウス音楽院、京都市立芸術大学、ミュンヘン国立音楽大学にてピアノの指導を行った他、国際室内楽、ピアノコンクールの審査員を務めている。堀川高校音楽科第17期卒。

今の私にとって音楽とは？それは生活して、生きていく事と繋がっていて、その大半は一致しています。今の世界、毎日がニュースで知る貧困、災害、戦争テロ等の中で自分の生命が今日どうなるかという極限状態におかされていない私、幸いな者と言えることです。有難い感謝しています。音楽をする心、感じる心というのは本当に素晴らしい、生命へのエネルギーです。でも、それも青年時代に無我夢中で勉強したお陰でしょう。五月の新緑、ここミュンヘンでも鮮やかないろで我々に語りかけています。そこから音楽が聴こえてきます。……

(敬称略・五十音順)

オーケストラ定期演奏会

YouTubeで Check! ➡



本校への交通・アクセス

- 京都市営地下鉄 東西線「二条城前駅」下車 2番出口より 徒歩2分
烏丸線「烏丸御池駅」下車 徒歩約10分
- 京都市バス 「堀川御池」下車 徒歩2分
- 阪急電車 京阪線「大宮駅」下車 徒歩約15分



京都市立京都堀川音楽高等学校

Kyoto Municipal Kyoto Horikawa Senior High School of Music

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押小路町238-1

TEL: 075-253-1581 FAX: 075-213-3631

e-mail: ongaku@edu.city.kyoto.jp



京都堀川音楽高校

ホームページへアクセスできます。



ドヴォルジャーク 作曲

序曲「謝肉祭」

指揮：明石 幸大

管弦楽：京都堀川音楽高等学校オーケストラ

2025.3.22 第15回卒業演奏会におけるライブ録音



平田 あゆみ 作曲

山本 純子 作詞

京都市立京都堀川音楽高等学校校歌

「海を遠く」

指揮：津幡 泰子

ピアノ：明石 幸大

合唱：京都堀川音楽高等学校

2019.12.17 京都コンサートホール大ホールにて録音





京都市立京都堀川音楽高等学校

Kyoto Municipal Kyoto Horikawa Senior High School of Music

〒604-0052 京都市中京区油小路通御池押油小路町 238-1

TEL: 075-253-1581 FAX: 075-213-3631

e-mail: ongaku@edu.city.kyoto.jp

HP: <https://horion.ed.jp>

